

茨城宇宙通信実験所

1963 年（昭和 38）、茨城宇宙通信実験所が開所した。同実験所には、KDD が開発した 6 GHz 送信機、4 GHz 受信機、直径 20m の大口径カセグレンアンテナが設置、実用化された。送信装置には、終段電力増幅器として 4 空洞のクライストロンが用いられた。受信装置には、初段に液体窒素冷却増幅器、次段に常温のパラメトリック増幅器が用いられた。衛星追尾には、別途、直径 6 m のパラボラアンテナが用いられた。同年、リレー 1 号衛星による初の日米間テレビ中継では、ケネディ暗殺という衝撃的なニュースが伝えられた。

出典：KDD 社史